

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成27年3月13日、4月24日、5月16日、6月19日に開催された計4回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 通常総会の開催および会長、役員の交代について

5月17日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりです。今年も研修セミナーと同時開催とさせていただきましたが、多数のご出席をいただきありがとうございました。

今年、役員が任期満了になることに伴い、山崎親雄先生が14年続けられた会長職を退任することになりました。長らく医会の運営の先頭に立ちご尽力されたことに誠に感謝しております。新会長には常務理事であった秋澤忠男先生が就任しました。秋澤先生は2期4年、日本透析医学会理事長を務められるなど、長く透析医療のメインストリームで活躍されてきました。その経験、知識の下に今後の透析医会活動のさらなる充実に寄与して頂けるものと期待しています。山崎先生は名誉会長として大所高所から引き続きご指導を頂くこととなります。

また新たに宍戸寛治先生、相澤孝夫先生、久保和雄先生、佐中孜先生が理事に加わり、井形昭弘先生、杉崎弘章先生、土屋隆先生が退任となります。長らく医会の運営にご尽力いただきありがとうございました。専務理事であった杉崎先生の後任には常任理事であった篠田俊雄先生が就任、宍戸寛治先生、土谷晋一郎先生が新たに常務理事に就任、杉崎弘章先生は監事に就任します。

今回、会長の交代を含め大きく役員構成が変わりましたが、これまで以上に役員が力を合わせて透析医療が直面する課題に取り組んでいく所存です。皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

2. 第20回透析保険審査委員懇談会について

日本透析医学会学術集会の期間中の6月26日に、横浜におきまして、全国の透析関連の保険審査委員、支部長の先生などにご出席いただき第20回透析保険審査委員懇談会が開催され、長時間にわたり活発な議論が行われました。例年お忙しいところご出席いただいた先生方には御礼申し上げます。詳細につきましては12月発刊予定の日本透析医会雑誌30巻3号でご報告の予定です。

3. 災害情報ネットワーク会議などについて

日本透析医学会学術集会開催期間中の6月28日に、横浜におきまして、第15回災害時情報ネットワーク会議を開催しました。今年も活発な議論が行われました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。会議の内容については、12月発刊予定の日本透析医会雑誌30巻3号でご報告させていただきます。

4. 日本透析医会研修セミナーについて

昨秋の札幌での開催に引き続き、秋の研修セミナーは、巻頭のご案内の通り、「透析療法～その過去・今日・未来～」をテーマに、新潟市の朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンターで10月4日（日）開催の予定です。お誘い合わせのうえたくさんのご参加お待ちしております。

5. 平成27年度日本透析医会公募研究助成について

今年度も腎不全医療、特に透析医療を推進するための学術研究に対し、公益事業の一つとして日本透析医会より公募研究助成を行います。詳細についてはホームページをご参照ください。